



# 引き継がれてきた「不正経理」。

## 組織健全化のために、徹底的な調査による全容解明が必須。

03～07年度の5年間で、約30億円にもぼる不正経理が発覚し、初の定例会となった9月議会（9月25日～10月22日）。所属している「商工労働企業常任委員会」でこの問題を追及し、長年にわたり、慣習的に「不正の引き継ぎ」が行われてきた事実が明らかになりました。

### ◆◆常任委員会質疑

「日本一金に汚い県だと言われても仕方ない。不正経理発覚後の記者会見で、森田知事は、こう言って肩を落とす、「徹底的にすべての膿を出すのが県民に伝えるということ」と、この問題について、厳しく追及していく姿勢をみせていました。

千葉県の不正経理は、03年からの5年間だけで約30億円、全401部署中、約96%の383部署で不正が確認され、会計検査院が「不適切」としている6通りの手口（左下図）をすべて駆使する徹底ぶり。金額・件数・手口の悪質さのどれをとっても、全国一の規模です。

この問題発覚後、初の定例会となった9月議会では、当然ながら質問・質疑が、この問題に集中。しかし、当初マスコミに見せていた知事の追及姿勢は、明らかにトーンダウン。当局の答弁も「調査継続中」を理由に、曖昧なものに終始していました。

私は、所属している「商工労働企業常任委員会」で、この問題について、質疑を行いました。

それにより、商工労働部の各部署では、経理担当者が変わる際、前任者が後任者に不正金の存在を口頭やメモなどで引き継いできたことが判明しました。

不正の手口は、業者の口座に県費を預けたり、現金や商品券など

## 県議会報告



09/冬

民主

【Profile】市立見明川小、見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、現みずほ銀行に入社（16年勤務）。2007年4月民主党公認で県議会に出馬し初当選。千葉県議会商工労働企業常任委員会委員。  
<http://www.yazaki-kentaro.jp>

「不正経理調査会」を結成し、調査を開始しています。再発防止のためにも、また県民の信頼回復のためにも、全容解明が必須です。今後も引き続き厳しく追及してまいります。

◆◆県議から国会に要望「行政刷新会議」の案件とし、市町村をはじめ、行政組織の不正洗い出しを。

を県庁内で保管していたもので、調査対象期間の03年以前から行われていたこともわかりました。商工労働部の不正金額の合計は約4千683万円にも上ります。

「不正」という認識がなかった」という答弁がありました。業者に金を預けてある」と申し送られたり、多額の現金等を渡された際に、「おかしい」と思う感覚すらなかったということでしょう。庁内に蔓延する病の深刻さに、深い憤りを覚えました。

残念ながら、不正経理は、千葉だけの問題ではありません。会計検査院が今年調べた26府県2政令指定都市のすべてで、不正経理がみつかっています。

そこで、民主党千葉県議会議員会では、先の衆議院選で当選を果たした千葉県選出の民主党国会議員との懇談会で、この問題を国の「行政刷新会議」の所管案件とし、国やその出先機関、他都道府県、市町村など、あらゆる行政組織における実態を解明するよう要望しました。

### 確認された不正経理の手口

【会計検査院が「不適切」とする6通りの手口を全て駆使】

- ①「預け」  
業者に架空の請求書を出させ、代金を業者の口座に振り込みプールする
- ②「一括払い」  
代金を支払わずに業者に随時納入させ、後から別の物品名目で請求書を出させる
- ③「差し替え」  
発注した物品と異なる品物を納入させる
- ④「先払い」  
発注した物品が納入される前に代金を払う
- ⑤「翌年度納入」  
発注を装って代金を先払いし、翌年度に納品させる
- ⑥「前年度納入」  
予算不足から物品を先に納入させ、翌年度に払う

